

【吉岐高校】R8 学校教育目標

～一人ひとりが輝く、みんなが輝く、生き生き伸び伸び“吉岐高校”2.0～

◆ 1 校訓、教育スローガン、キャッチフレーズ

- ★校訓 自律 明朗 友愛
- ★教育スローガン 師弟同行 啐啄同時 凡事徹底
- ★キャッチフレーズ 一人ひとりが輝く、みんなが輝く、生き生き伸び伸び “吉岐高校” 2.0

◆ 2 スクール・ミッション（県教委作成）

社会的役割	校訓「自律・明朗・友愛」のもと、吉岐市唯一の普通科高校として、主体的な「思考・判断・行動」ができ、常に傾聴を心がけ、他者との違いを認め合う豊かな人間性を持ち合わせた人材や、将来にわたり地域の活性化に貢献しようとする人材を育成します。
教育理念	個に対応した学習指導やキャリア教育を通して、主体的に進路決定をするための資質・能力を育む教育を目指します。また、部活動等を通して、仲間とともに切磋琢磨しながら、高い目標の実現に向けて主体的に努力し続ける力を育む教育を目指します。
今後の方向性	地域との協働を図りながら、地方創生をテーマにした探究活動や体験学習等を充実させるとともに、ICTを活用した先進的な学習指導を展開します。また、離島留学制度における東アジア歴史・中国語コースにおいては、よりハイレベルな知識・技能の習得に向け、様々な体験活動や史跡巡検、中国語研修等の教育活動を実践します。

◆ 3 スクール・ポリシー（本校作成）

■ グラデュエーション・ポリシー（育成したい生徒像）

本校は、「客観的な自己理解とグローバルな視座の両面を踏まえた上で、自分の持ち味（良さ）を社会の中で生かすことのできる生徒」を育成します。

そのため、次の①～③の資質・能力を醸成します。

- ①自らを高めるために、地道に粘り強く努力し、主体的に考動する力。【自律、凡事徹底】
- ②自らの前向きで明るい言動により、困難や苦境を乗り越え前進していくエネルギーを、仲間や自らが属する集団に与えることのできる力。【明朗】
- ③自他の異なる価値観を尊重し、他者を思いやる気持ちや、いじめを絶対に許さない包摂的な人間関係を構築することのできる力。【友愛】

■ カリキュラム・ポリシー（学びの方針）

本校は、育成したい生徒像を実現するため、次の①～④について重点的に取り組み、表出された結果のみならず、結果に至る試行錯誤（プロセス）を大切に評価を行います。

- ①すべての教育活動において、解のない問い、解が一つに定まらない課題と向き合う探究的な学びを推進します。
- ②すべての教育活動において、生徒を主語とした、生徒主体の教育活動を推進します。
- ③協働学習や集団活動、地域と連携した活動など、他者と連携・協働する活動を推進します。
- ④読書活動を推奨するとともに、校内外の様々なイベントへの参加を促すことで世の中（社会）についての見識を深め、自分自身を客観的に見つめたり、自己の持ち味（良さ）に気づいたりすることのできるキャリア教育を推進します。

■ アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

本校は、入学者として、次の①～③のいずれかに該当する生徒を募集します。

- ① 本校が設置する各コースの教育内容を理解し、入学後は自らの夢の実現に向けて、日々の学習や探究活動などに粘り強く取り組む生徒。
- ② 探究活動や部活動、学校行事、生徒会活動等に積極的に取り組み、入学後もこれらの活動の意義を理解し、意欲的かつ主体的に取り組む生徒。
- ③ 本校の校訓「自律・明朗・友愛」の精神を自分の言葉で説明できるとともに、それらの精神を自分自身の成長に結びつけようとする意志のある者。

「東アジア歴史・中国語コース」では、上記①～③のいずれかに加えて、次の④を必須とします。

- ④ 歴史や中国語に関する分野に興味・関心が高く、これらを主体的に学ぼうとする生徒。

◆ 4 R8 年度の重点項目

■ 1 探究的な学びの推進

- ①「総合的な探究の時間」のカリキュラム開発・・・ポスターセッションの導入など
- ②各教科・科目において「探究的な学び」を追究・・・全教科の年間研究テーマ、授業研究会の開催など
- ③自らの学びや活動の意義を理解し、的確に言語化する力、文章で表現する力の育成
- ④自然科学への興味・関心を喚起・・・ホタルマップの作成、海洋生物実習の実施など

■ 2 生徒主体の教育活動の推進

- ①生徒実行委員会方式による学校行事等の実施・・・企画・準備から運営まで生徒に任せる
- ②安心して意見や感想が述べられる心理的安全性の確保・・・相手意識のある言動

■ 3 他者と連携・協働する活動の推進

- ①各教科・科目における協働学習の推進・・・効果的なペアワーク、グループ学習等の研究
- ②グループダイナミクス理論の学習・・・“何となくの集団的活動”からの質的脱却

■ 4 自分を客観的に見つめ、自己の持ち味（良さ）に気づくことのできるキャリア教育の推進

- ①“自分を知る”・・・ジョハリの窓、徹底的な自己分析による客観的な自己理解の促進
～進路選択とは、“自分を社会の中でどのように生かすのか”を選択すること～
- ②グローバルな視座を獲得するために“世の中（社会）を知る”という視点・・・まずは校内の資源をフル活用（各教科・科目の学習が基本、3つのセンター機能（読書センター、学習センター、情報センター）を意識した学校図書館の積極的活用など）

■ 5 青年前期の柔らかな感性を刺激する教育活動の推進

- ①芸術鑑賞会の開催・・・3年に1度の開催を目標に
- ②煌雪祭（文化祭）のさらなる充実・・・酷暑に対応した開催時期及び開催方法等の検討、探究学習で作成したポスターの掲示、授業等に係る成果物の展示を推進、先進校視察に生徒派遣
- ③芸術活動の推進・・・吹奏楽部の生演奏を学校行事に積極的に活用、合唱を活用した集団づくり、地域と連携したご当地グッズ等の商品開発

■ 6 自らの心身の健康を大切に、人権を尊重する態度と行動力を育む教育活動の推進

- ①保健体育の授業や各種講演会、保健だよりなどの取組を通じた心身の健康についての理解を醸成
- ②アサーション・トレーニングやいじめ防止宣言などの取組を通じた人権を尊重する態度と行動力の育成

■ 7 安心・安全な教育環境、働きやすい職場づくりの推進

- ①施設・設備の安全管理などの推進
- ②多様な生徒に対応したインクルーシブ教育環境の整備・・・昇降機の新設、段差の解消、複数言語（英語・中国語）による校内表示の推進
- ③「吉崎高・働き方改革プラス」の推進・・・計画年休制度の導入（年休取得目標：一人当たり平均15日以上）、職員室解錠・施錠時刻の厳守、定時退校日における定時退校の徹底